

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : FULCAT-435

用途 : 触媒

## 供給者情報

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社  
住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29  
電話番号 : +49 281 670-23532  
FAX番号 : +49 281 670-23533  
電子メールアドレス : GHS.BYK@altana.com  
緊急連絡電話番号 : East/South East Asia +65 3158 1074

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

生殖細胞変異原性 : 区分 2

発がん性 : 区分 1A

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 2 (呼吸器系, 免疫系, 腎臓)

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。  
H350 発がんのおそれ。  
H373 長期にわたる, 又は反復ばく露により臓器（呼吸器系, 免疫系, 腎臓）の障害のおそれ

注意書き :

## 安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト グ蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 応急措置:

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

## 保管:

P405 施錠して保管すること。

## 廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

## GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非 : 情報無し。  
常事態の概要

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質  
化学名又は一般名 : 酸溶出ベントナイト

## 危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
石英 (結晶)	14808-60-7	>= 1 - < 10

省略記号の説明はセクション 16 を参照する。

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 石けんと水で洗い流す。  
刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。  
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐かせ、医師に連絡する。  
気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知られていないか予想されない症状。  
眼と呼吸器官、皮膚に刺激性。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧  
泡  
粉末  
二酸化炭素 (CO2)  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 製品自体は燃焼しない。  
材料は濡れるとすべり易くなる。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。  
消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護 : こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。  
具及び緊急時措置 : 物質で滑りやすい状態となる可能性がある。  
適切な個人保護具を装着した許可された要員のみが立ち入ることができる。  
保護具を使用する。  
粉塵の発生を避ける。  
粉塵を吸い込まないよう留意。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び : 粉塵を発生させないように留意して回収し、廃棄する。  
機材 : 除去の際には認可された工業用吸引機を使用する。  
高性能粒子除去空気フィルター (HEPA フィルター)  
クリーンアップ方法—大規模の流出  
水スプレージェットで、粉塵を除去する。  
シャベルを使って適切な容器に入れ、処分する。  
洗浄後は、水で痕跡を洗い流す。  
クリーンアップ方法—小規模の流出  
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。  
  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

安全取扱い注意事項 : 粉塵の発生を避ける。粉塵が発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。  
蒸気/粉塵を吸い込まない。  
曝露を避ける—使用前に特別指示を受ける。  
皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

接触回避 : 強酸化剤  
衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や終業時には手を洗う。

#### 保管

安全な保管条件 : 粉塵の発生を避ける。  
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
ラベルの予防措置を遵守する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

混触禁止物質 : 酸の近くに保管しない。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
石英 (結晶)	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m3 (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 吸入性結晶質シリカおよび吸入性粉塵は以下の捕集率 R (dae) で捕集された粒子の質量濃度である。 $R (dae) = 0.5 [1 + \exp(-0.06dae)] [1 - F(x)]$ dae: 空気動力学の粒子径 ( $\mu m$ ), $F(x)$ : 標準正規変数の累積分布関数 $x = \ln(dae/\Gamma) / \ln(\Sigma)$ , $\ln$ 自然対数, $\Gamma = 4.25 \mu m$ , $\Sigma = 1.5$ , 発がん以外の健康影響を指標として許容濃度が示されている物質。 III. 発がん物質の前文参照。 , 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (呼吸性画分)	0.025 mg/m3 (シリカ)	ACGIH

設備対策 : 十分な換気を確保する。

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

空気濃度を職業暴露基準以下に保つ。  
粉塵は、発生源から直接排出されなければならない。

**保護具**

- 呼吸用保護具 : 粉塵およびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。  
総粉塵の濃度が 10 mg/m<sup>3</sup> 以上の場所では防塵マスクが推奨される。
- 手の保護具
- 備考 : この製品を扱う前に、皮膚保護クリームを使う。  
適切な手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : サイドシールドのついた保護メガネもしくはゴーグルを着用しましょう。  
作業環境もしくは活動中に埃、ミスト、エアロゾルなどが引き起こされる場合、適切なゴーグルを着用しましょう。  
純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : ユニフォームもしくは実験室用コートを着用しましょう。  
微粒子不浸透性保護服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

**9. 物理的及び化学的性質**

- 外観 : 粉末  
色 : オフホワイト  
臭い : 無臭  
臭いのしきい(閾)値 : 非該当
- pH : 3 - 4.5 (20 ° C)  
(水懸濁液)
- 融点・凝固点 : 非該当
- 沸点/沸騰範囲 : 非該当  
引火点 : 非該当
- 蒸発速度 : 非該当
- 燃焼性(固体、気体) : 燃焼しない
- 爆発範囲の上限 : 非該当
- 爆発範囲の下限 : 非該当
- 蒸気圧 : 非該当
- 蒸気密度 : 非該当

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

比重 (密度)	: データなし
密度	: 2.6 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
かさ密度	: 600 kg/m <sup>3</sup>
溶解度	
水溶性	: 不溶
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
発火温度	: 非該当
分解温度	: 非該当
粘度 (粘性率)	
粘度 (粘性率)	: 非該当
動粘度	: 非該当

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 粉塵は空気中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	: 知見なし。 データなし
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

**製品:**

急性毒性 (経口) : 備考: データなし

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

**製品:**

備考: データなし

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

**製品:**

備考: データなし

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

**製品:**

備考: データなし

## 反復投与毒性

**製品:**

備考: データなし

## 詳細情報

**製品:**

備考: データなし

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

**製品:**

魚毒性 : 備考: データなし

ミジンコ等の水生無脊椎動物 :  
に対する毒性 : 備考: データなし

## 残留性・分解性

**製品:**

生分解性 : 備考: データなし

## 生体蓄積性

**製品:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

## 土壌中の移動性

データなし

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

## オゾン層への有害性

非該当

## 他の有害影響

## 製品:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質/混合物は 0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質 (vPvB) と懸念される物質を含有しておりません。

生態系に関する追加情報 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

## 航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

## 海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

## 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号
シリカ	165-2

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
シリカ	165-2

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**高圧ガス保安法**

非該当

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**16. その他の情報****その他の略語の全文**

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; GPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

**詳細情報**

研修アドバイス : 従業員 (および販売する場合は顧客またはユーザー) に、吸引性粉塵や吸引性結晶シリカが発生するかもしれないこと、およびその危険性を知らせなければならない。該当する法律に従い、この物質の適切な取り扱い方法に関する訓練を施さなければならない。

その他の情報 : 1997年、IARC (国際ガン研究機関) は、職業的要因で結晶シ

## FULCAT-435

製品コード: 000000000000158442

版番号 1.0 SDS\_APJ\_JP

改訂日 2018/09/07

印刷日 2026/06/02

リカを吸い込んだ場合、ヒトに肺がんを引き起こす可能性がある」と結論づけた。ただし、総合的評価として、「調査を行ったすべての産業的環境で発がん性が確認されたわけではない。発がん性は、結晶シリカの固有特性、生物的活動に影響を与える外的要因、もしくは多形体の分布に依存する可能性がある。」と記載している（IARCモノグラフ - ヒトに対する化学物質、シリカ、ケイ酸塩粉塵および有機繊維の発ガン性リスクの評価、1997, Vol. 68, IARC、リヨン（フランス））。2003年6月、SCOEL（EU職業曝露限界に関する科学委員会）は、結晶シリカの吸入性粉塵のヒトによる吸入の主な影響は、珪肺症であると結論づけた。「珪肺症の人は肺がんの相対的リスクが増すと結論づけるに十分な証拠がある。（そして、碎石場または窯業でシリカ粉塵に曝露された珪肺症を伴わない従業員にはリスクの増加はないようだ）。従って、珪肺症の発病を防げば、ガンリスクも減少する…」（SCOEL SUM Doc 94-final、2003年6月）

現時点での最高水準の技術によれば、既存の職業被ばく限度規制を遵守することにより、珪肺症からの労働者の保護は確実に保証される。

日付フォーマット : 年/月/日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などを安全に行って頂くために作成されました。記載されている情報はいかなる保証をするものではありませんし、品質を特定するものではありません。また、本 SDS のデータはここで指定された物質についてのみ有効で、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。